

日本から歐洲を経て
伯國北部再踏査中の
ラウル・ボツブ氏



南大河州出身の若手新聞記者として、アゼンシヤ・ラジーラ聖市の主任を勤めたラウル・ボツブ氏は昨年一月日本に渡り、日本の社會状態を觀察する。同時にラジル宣傳力を盡した處から氏の名聲は日本東西に廣がり、到る處歓迎を受けた事は其の當時報道した通りであるが、氏は日本研究を了して、その後は支那に渡り、印度に出で、歐羅巴に至つて各地巡遊しての後、便船を求めてアメリカに出で更に伯國北部再踏査を企て、最近マナオスを経て、ペレン市に到着の通じを得たから、聖市の人となるのは近々のこと、友人等は氏の過去一年半の世界漫遊談を聞くべく首を長くして待つてゐる。尚ほ氏の廻り廻はつた主なる場所を擧げて見ると、日本行きの途中はアフリカ・シナガボールを視て、神戸に着き日本滞在半年の後、支那、印度、ロシア、ボロニア、ドイツ、パルガム地方、トルコ、ギリシャ、ユーゴスラビヤ、イタリー、フランス、イギリス、メキシコ、キューバ、中米と漸次南下してアマゾン河に出で、遂に伯國の土を踏むなど、云ふのである。右の如く、大旅行中断片的に氏の書簡送れる書信にして、菊宇新聞に現はれた中ほんの二、三を掲げて見れば、

◇日本

ラジルは、日本を云ふものの大いに

多く教習しつゝある國である。

これは勿論だが、あの國民の智力、工業技術能等に世界に冠るものがある。

我々は大いに學ばねばならぬ。

是れ日本で一番歓迎を受けた事

は特に申述ねばならない。

◆獨逸

記者として、アゼンシヤ・ラジーラ聖市の主任を勤めたラウル・ボツブ氏は昨年一月日本に渡り、日本の社會状態を觀察する。同時にラジル宣傳力を盡した處から氏の名聲は日本東西に廣がり、到る處歓迎を受けた事は其の當時報道した通りであるが、氏は日本研究を了して、その後は支那に渡り、印度に出で、歐羅巴に至つて各地巡遊しての後、便船を求めてアメリカに出で更に伯國北部再踏査を企て、最近マナオスを経て、ペレン市に到着の通じを得たから、聖市の人となるのは近々のこと、友人等は氏の過去一年半の世界漫遊談を聞くべく首を長くして待つてゐる。尚ほ氏の廻り廻はつた主なる場所を擧げて見ると、日本行きの途中はアフリカ・シナガボールを視て、神戸に着き日本滞在半年の後、支那、印度、ロシア、ボロニア、ドイツ、パルガム地方、トルコ、ギリシャ、ユーゴスラビヤ、イタリー、フランス、イギリス、メキシコ、キューバ、中米と漸次南下してアマゾン河に出で、遂に伯國の土を踏むなど、云ふのである。右の如く、大旅行中断片的に氏の書簡送れる書信にして、菊宇新聞に現はれた中ほんの二、三を掲げて見れば、

同仁會決議

（一） 無効の訴に就つて
サンパウロ市 牧 義朝

（二） 同仁會決議

（三） 同仁會決議

（四） 同仁會決議

（五） 同仁會決議

（六） 同仁會決議

（七） 同仁會決議

（八） 同仁會決議

（九） 同仁會決議

（十） 同仁會決議

（十一） 同仁會決議

（十二） 同仁會決議

（十三） 同仁會決議

（十四） 同仁會決議

（十五） 同仁會決議

（十六） 同仁會決議

（十七） 同仁會決議

（十八） 同仁會決議

（十九） 同仁會決議

（二十） 同仁會決議

（二十一） 同仁會決議

（二十二） 同仁會決議

（二十三） 同仁會決議

（二十四） 同仁會決議

（二十五） 同仁會決議

（二十六） 同仁會決議

（二十七） 同仁會決議

（二十八） 同仁會決議

（二十九） 同仁會決議

（三十） 同仁會決議

（三十一） 同仁會決議

（三十二） 同仁會決議

（三十三） 同仁會決議

（三十四） 同仁會決議

（三十五） 同仁會決議

（三十六） 同仁會決議

（三十七） 同仁會決議

（三十八） 同仁會決議

（三十九） 同仁會決議

（四十） 同仁會決議

（四十一） 同仁會決議

（四十二） 同仁會決議

（四十三） 同仁會決議

（四十四） 同仁會決議

（四十五） 同仁會決議

（四十六） 同仁會決議

（四十七） 同仁會決議

（四十八） 同仁會決議

（四十九） 同仁會決議

（五十） 同仁會決議

（五十一） 同仁會決議

（五十二） 同仁會決議

（五十三） 同仁會決議

（五十四） 同仁會決議

（五十五） 同仁會決議

（五十六） 同仁會決議

（五十七） 同仁會決議

（五十八） 同仁會決議

（五十九） 同仁會決議

（六十） 同仁會決議

（六十一） 同仁會決議

（六十二） 同仁會決議

（六十三） 同仁會決議

（六十四） 同仁會決議

（六十五） 同仁會決議

（六十六） 同仁會決議

（六十七） 同仁會決議

（六十八） 同仁會決議

（六十九） 同仁會決議

（七十） 同仁會決議

（七十一） 同仁會決議

（七十二） 同仁會決議

（七十三） 同仁會決議

（七十四） 同仁會決議

（七十五） 同仁會決議

（七十六） 同仁會決議

（七十七） 同仁會決議

（七十八） 同仁會決議

（七十九） 同仁會決議

（八十） 同仁會決議

（八十一） 同仁會決議

（八十二） 同仁會決議

（八十三） 同仁會決議

（八十四） 同仁會決議

（八十五） 同仁會決議

（八十六） 同仁會決議

（八十七） 同仁會決議

（八十八） 同仁會決議

（八十九） 同仁會決議

（九十） 同仁會決議

（九十一） 同仁會決議

（九十二） 同仁會決議

（九十三） 同仁會決議

（九十四） 同仁會決議

（九十五） 同仁會決議

（九十六） 同仁會決議

（九十七） 同仁會決議

（九十八） 同仁會決議

（九十九） 同仁會決議

（一百） 同仁會決議

（一百一） 同仁會決議

（一百二） 同仁會決議

（一百三） 同仁會決議

（一百四） 同仁會決議

（一百五） 同仁會決議

（一百六） 同仁會決議

（一百七） 同仁會決議

（一百八） 同仁會決議

（一百九） 同仁會決議

（一百二十） 同仁會決議

（一百二十一） 同仁會決議

（一百二十二） 同仁會決議

（一百二十三） 同仁會決議

（一百二十四） 同仁會決議

（一百二十五） 同仁會決議

（一百二十六） 同仁會決議

（一百二十七） 同仁會決議

（一百二十八） 同仁會決議

（一百二十九） 同仁會決議

（一百三十） 同仁會決議

（一百三十一） 同仁會決議

（一百三十二） 同仁會決議

（一百三十三） 同仁會決議

（一百三十四） 同仁會決議

（一百三十五） 同仁會決議

（一百三十六） 同仁會決議

（一百三十七） 同仁會決議

（一百三十八） 同仁會決議

（一百三十九） 同仁會決議

（一百四十） 同仁會決議

（一百四十一） 同仁會決議

（一百四十二） 同仁會決議

（一百四十三） 同仁會決議

（一百四十四） 同仁會決議

（一百四十五） 同仁會決議

（一百四十六） 同仁會決議

（一百四十七） 同仁會決議

（一百四十八） 同仁會決議

（一百四十九） 同仁會決議

（一百五十） 同仁會決議

（一百五十一） 同仁會決議

（一百五十二） 同仁會決議

（一百五十三） 同仁會決議



テスエロノ

リンス父師會

去る十日、リンス市立師範學校

於て、午後三時から「リンス

父師會の(Associação de Peas

Mestrado)創立協議會を開催、學

校關係者や父兄達の參加希望を

表明した、そして此の會は當地

方於ける子弟教育の向上發展

を期する爲め一致協力すべき團

體を形成すべく會員より一定の

月額會費などを徵さないのを特

色とする、發企の學校は左の如

くである。

州立小學校

Escola Normal Livre de Lins

Grupo Escolar de Lins

Gymnasio Americano

Gymnasio Brasileiro

Colégio Nippônico

一千校新設計畫

最近の州學務局に於ける初等教

育に對する新施設の中、各地州

立初等の義務教育を課する小學

校には必ず師範出身の教師を配

すること、州内各地に一千の

州立小學校新設の計畫にて、そ

れに對する教師も任命される譯

で、學齡兒童(八歳から十歳ま

で)四十人以上を有し、規定に

添ふた校舎及び教員住宅を提供す

る。最近の州學務局に於ける初等教

育に對する新施設の中、各地州

立初等の義務教育を課する小學

校には必ず師範出身の教師を配

ること、州内各地に一千の

州立小學校新設の計畫にて、そ

れに對する教師も任命される譯

で、學齡兒童(八歳から十歳ま

で)四十人以上を有し、規定に

添ふた校舎及び教員住宅を提供す

る。最近の州學務局に於ける初等教

育に對する新施設の中、各地州

伯製干蓮根
女心男心の正體は?

伯製干蓮根

元老重富猪六氏は、此の蓮栽培

を普及する爲め苗の分譲を開始

され、既に採掘時期とて申込順に

は各々自らを慰めてゐる。

ので、一時十四、五ミルまで上

つたエンコシコの珈琲價が十二

ミル以下に下つたやうである

が、此の輸送中止は七月からの

新規輸送開始の準備に外かなら

ぬから今暫くの辛抱だと生産者

は日々奮闘してゐる。

は日々奮闘してゐる。

は日々奮闘してゐる。

は日々奮闘してゐる。

は日々奮闘してゐる。

は日々奮闘してゐる。

珈琲輸送中止

サンパウロに珈琲局では六月五

日以後アルマゼン・セラールへ

も珈琲輸送を中止されたと云ふ

ので、一時十四、五ミルまで上

つたエンコシコの珈琲價が十二

ミル以下に下つたやうである

が、此の輸送中止は七月からの

新規輸送開始の準備に外かなら

ぬから今暫くの辛抱だと生産者

は日々奮闘してゐる。

原篤氏留任

カフエランデア郡平野植民地旭

小學校々長良篤氏は、リンス學

園々長に懇意に原篤氏が決定する

結果左の諸氏が幹部になつたの

で成績が良いと云ふ事である。

勤務の判事補ドットル・オスカ

ル・マルチス・デ・メロ氏臨

事裁判長として就任され、また

ラ・マルチス警察署長ドットル・オク

タビオ・レーメ氏辭任の後には

ドットル・ライムンド・モレイ

ス聖市より來任した。

トマス警察署長ドットル・オク

事裁判長として就任され、また

ラ・マルチス警察署長ドットル・オク

「あの飛んでゐる燕が見えるか？」とサシーは仕事の手を一寸休めて尋ねた。
「知つてゐるども、丁度今あつちへ燕さんは飛んでいつたちやしないか。」とサシーは彼の両手を丁度燕の翼の様に廣げて飛ぶよ似をして見せた。
モスキットとモスカ共が群れ飛んで、雨の前に自らの陰で堪所を探してゐる。
燕がまた飛んで来て蜘蛛の傍へ来て云つた。
「モスキットやモスカ共は大柄怡だよ、彼等は澤山の事を知つてゐる、雨のふる前の彼等の動作を、サシーに言つてやり給へ。」といつてまた飛び去つた。
蜘蛛がサシーに説明して、
「何うかなサシー君、未だ雨がふることを信じないかね？」
サシーも今度は半信半疑の様子で黙つてゐた。
「オ、出てくる。」蜘蛛は無数に出て来るモスキット共の群を見てゐた。

